



次なる舞台は 福岡・天神へ。

未来へ、
新たな一歩。
WelinaHotel
挑戦の舞台は
福岡へ。

「ここしかない」—— 情熱が動かした 天神の一等地

「福岡はホテルが足りない」というお客様の声、この挑戦の始まりでした。社長自ら現地に赴き、九州のハブとして、特に海外から多くの方が訪れるこの市場に大きな可能性があることを確信。中でも、商業・文化の中心である「天神」は、まさに譲れない一等地でした。しかし、その土地は売りに出たわけではありません。私たちが仕掛けたのは、土地の所有者に対する直接交渉。我々のホテル事業にかけける情熱と将来性を粘り強くお伝えし、この上ない好立地を取得するに至ったのです。

「距離を越えて、信頼を築く」 ～福岡で成功を 掴むための挑戦～

初の大阪市外進出は、乗り越えるべき壁への挑戦でもあります。設計や建築、運営に関わる業者様との関係性を福岡で一から築き上げること。そして、何かあったときにすぐ駆けつけられない物理的な距離の課題を乗り越えなければなりません。最も重要なのは「人」の力です。Welinaのおもてなしを実現するため、大阪で培ったノウハウを持つ社員と、現地で迎える新しい仲間との融合が成功の鍵を握ります。未知の市場への挑戦には不安も伴いますが、現地での人脈作りに時間を注ぎ、着実に成功への道を切り拓きます。

信頼の証 — 5行の銀行団が 未来を拓く

高い志を実現するには、それを支える強固な基盤が不可欠です。今回のプロジェクトにおける多額の投資は、三井住友銀行をアレンジャー（主幹事）とした計5行の金融機関によるシンジケートローンで組成することで実現しました。これは、私たちの事業計画の緻密さ、そして将来に対して厳しい判断の目を持つ金融機関から高く評価された何よりの証です。銀行団の力強いサポートがあってこそ、この大きな挑戦に踏み出すことができました。

挑戦は、 まだ始まったばかり

土地の取得、資金調達を経て、挑戦は新たなフェーズへ移行します。大阪で培ったWelinaのおもてなしを福岡で花開かせるため、すでに未来への布石を打っています。その一つが、人材の確保と育成です。福岡外語専門学校で会社説明会を実施。未来のホテルを共に創り上げる仲間たちとの対話を開始しました。大阪の経験豊富な社員と、現地で迎える新たな仲間との力が融合したとき、Welinaホテルはさらなる高みへ到達できると確信しています。

所在地
福岡市中央区渡辺通5丁目

地積
966.86㎡

購入日
2025年6月30日

客室数
260室



◀博多駅まで電車で3分/
中洲街まで徒歩6分

メッセージ

ともに成長し、高め合う未来へ

福岡への進出は、グループにとって大きな一歩です。この挑戦の基盤には、クレーン事業をはじめ、グループ社員の皆様一人ひとりの日々の真摯な働きがあることを、心から感謝しています。これから加わる福岡の新しい仲間たちと、大阪のホテルが良いライバルとして切磋琢磨することで、Welinaホテル、ひいてはタカダグループ全体がさらに成長していくことでしょう。会社の成長に負けないよう、皆様にも高い志を持って業務に取り組んでいただくと嬉しく思います。ともに新たな未来を切り拓いていきましょう。

苦勞を乗り越え、成長する若手オペレーターたち

誰もが経験する入社後の壁。しかし、その壁を乗り越えた先に成長と未来への希望が待っています。今回はオペレーターとして現場を支える飯野さんと森原さんにお話を伺い、成長の軌跡と仕事への情熱に迫ります。



高田クレーン興業 クレーンオペレーター
いいの たくや
飯野 拓也さん

成長したこと

現場の数だけ強くなる。クレーンの「癖」を見極め力

オペレーターとしての技術力が向上した点です。多くの現場を経験し、多種多様なクレーンを操縦を経験する中で、それぞれの機械の癖を判断できるようになりました。適切な操作で運搬するコツをつかめるようになったと思います。

入社時の苦勞とそれを乗り越えた方法

操作から現場フローまで……勉強の日々

クレーンの操作は難しく、最初は吊り荷を運ぶ作業自体がスムーズにできなかったことを覚えています。また、現場ごとに作業の流れが異なるため、その都度慣れるのにも時間がかかりました。小型のクレーンから始めましたが、機械が大きくなるにつれて気を使う場所が増え、操縦がより難しくなる点も大変でした。先輩からいただいたアドバイスを実践したり、先輩の動きの真似をしたりするうちに、少しずつできることが増えていきました。操作や安全確認など、安全第一で真面目に丁寧に取り組む心構えも先輩から教わり、自分でもとても大切にしています。



先輩への感謝のメッセージ
私が何度同じような失敗を繰り返しても、その都度、丁寧に教えてくださり、感謝しております。今後、自分に後輩ができた際には、先輩を見習い、私も丁寧にアドバイスをしていきたいと考えています。

今後の目標

様々な種類のクレーンに乗れるようになりたいと思っています。特に今、挑戦してみたいのはクローラーです。これまでのクレーンとは操作方法が大きく異なるため、また一から勉強して乗りたいたいという目標があります。



高田クレーン興業 クレーンオペレーター
もりはら みのる
森原 実さん

成長したこと

複数の免許を取得し、最新鋭クレーンを操縦

入社時には免許を持っていなかったのですが、大型トラック免許、クレーン免許、移動式クレーン免許、大型特殊免許と、複数の免許を取得し、様々なクレーンに乗れるようになりました。現在は100tラフターと220tオールテレーンの新車に乗務し、成長できたと感じています。

入社時の苦勞とそれを乗り越えた方法

オールテレーンオペレーターとしての重責

オールテレーンのオペレーター業務は、出荷準備から積み込み、組み立て、クレーン作業、解体と、一連の作業の主任者として現場に向かわなければならない、責任のある業務だと感じました。オールテレーンの現場へ回送する際のクレーン操作も、ラフターとは全く異なるため、覚えることが多く大変でした。乗り始めの頃はミスをして会社に迷惑をかけてしまいましたが、そのときの悔しい気持ちを忘れずに、一つひとつ確認をしてから作業に取り組んでいます。ミスも事故もなく終わることを繰り返すことで経験を積み重ねました。

今後の目標

まず何よりも無事故で勤めることです。今後も経験を積みながら業務の幅を広げ、一つひとつ丁寧に、精度の高い対応をしていきたいと考えています。後輩の指導をする中で気づくこともあり、それを自分の業務にも生かしたいと考えています。



先輩への感謝のメッセージ
先輩方は、後輩が困っていたらすぐに声をかけてくれたり、様々なことを教えてくれたり、手伝ってくれたりする、まさに「良い兄貴」ばかりです。日々気にかけてくださることに、心から感謝申しあげます。先輩方に優しく接していただいたからこそ、後輩にも丁寧に指導しようと思い、日々実践しています。



6月以降に入社された NEW FACE! //

新入社員をご紹介します!

6月1日入社



大阪高田クレーン興業 クレーンオペレーター
やまもと たわら
山本 侑さん

6月1日入社



東京高田クレーン興業 クレーンオペレーター
いんぐち しゅんや
井口 隼也さん

Topics 新車を導入しました!



2025年6月2日
25tラフタークレーン (GR-250N-5)



2025年6月12日
90tクローラークレーン (SCX900-3C6)

安全大会を開催しました!

6月22日に大阪で、6月29日に東京で、安全大会を開催いたしました。当日の様子をお届けします!

本社は、健康診断・ブルドン検査、安全大会・懇親会と盛りだくさんな1日となりました。

// 大阪会場の様子 //



// 東京会場の様子 //

